



3/17 みんなでハンコ作りに挑戦 子育て支援センター「わくわく広場」

長陽保健センター内で活動している子育て支援センター「わくわく広場」で「消しゴムハンコ作り」が行われ、村内の親子21人が参加しました。

同広場に参加する母親を講師に迎え、和気あいあいと子育ての話に花を咲かせながら、トレーシングペーパーに子どもの名前を書き、ハンコ用の消しゴムに写し、カッターで丁寧に彫っていました。

思い思いのデザインで世界に一つだけのハンコが出来上がっていました。



おしゃべりをしながらハンコを作り上げていく母親たち

出来上がったハンコ

3/10 宝くじ助成事業で消防団活動ベストを整備 村消防団

安全な地域づくりを目的としたコミュニティ助成事業により、村消防団幹部に活動ベストが整備されました。

このコミュニティ助成事業は、宝くじ社会貢献広報事業費を財源に、一般財団法人自治総合センターが助成決定を行うもの。

今回の活動ベスト整備により、昼夜を問わず、消防団活動時に消防団幹部の所属や階級が明確になるとともに、大規模災害時に自衛隊や警察署などの他団体との活動時にも南阿蘇村消防団であることが識別しやすくなることから、活動状況や指揮統制がとりやすくなり、効率的な活動が期待されます。



整備された活動ベスト

着用イメージ

3/23 たくさんの思い出をありがとう 村内5小学校 卒業式

村内5つの小学校で卒業式が行われ、96人の子どもたちが6年間の学び舎に別れを告げました。

久木野小学校では、26人が卒業。一人一人に東光洋校長から卒業証書が手渡され、在校生たちが、「いつも優しくあった皆さんのことはずっと忘れません。久木野小学校の良き伝統を受け継いでいきます」と言葉を贈りました。

一方、卒業生は、小学校6年間の思い出や、将来の夢を発表。「久木野小学校で学んだことを活かし新たなことに挑戦します。私たちの頑張り、成長をいつまでもみていてください」と新たな決意を力強く語りました。



一人ずつ小学校の思い出を語る卒業生

3/18 トロッコ列車元気に出発 南阿蘇鉄道トロッコ列車出発式

高森駅から中松駅間(7.11キロ)を結ぶ南阿蘇鉄道トロッコ列車(ゆうすげ号)の発車式が、高森駅で行われました。

発車式では、ちょうよう保育園の年長児が力強く「ちょうようソーラン」を披露。代表園児6人が、出発式を祝う「くす玉」を割り、「1日南鉄駅長」として後藤圭志君が「出発進行!」と号令をかけると、午前11時30分高森駅発のトロッコ列車が出発しました。

トロッコ列車は、土日・祝日に1日2往復、ゴールデンウィークや春休み、夏休みには毎日運行されます。



出発式でくす玉を割るちょうよう保育園の園児たち

3/25~4/16 待ち遠しい開花

村一帯で桜まつり開催

村内の各桜名所で桜まつりが開催され、村内外から多くの見物客でにぎわいました。

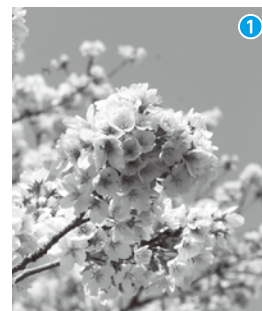
牧野の中にたたずむ「観音桜」は、平年より1週間遅く、5日に開花。地元「女子会さくら」などが出店した露店もにぎわっていました。

「アスペクタ桜公園」では、3月19日にオープニングイベントが開催。久木野太鼓の演奏やジビエ料理の振る舞いが行われ、22日には白水保育所の園児たちも桜見学に訪れていました。

「一心行の大桜」は、8日に開花宣言。寒気や天候が影響し、平年より1週間遅れての開花となりました。3月25日のオープニングイベントでは、阿蘇五岳太鼓の披露、関係者の皆さんによる餅まきが行われました。

観音桜

- ① 満開を迎えた観音桜
- ② 桜の写真をシャッターに収める観光客
- 一心行の大桜
- ③ オープニングイベントでの久木野太鼓演奏
- ④ 河津桜の下で元気に遊ぶ園児たち
- アスペクタ桜公園
- ⑤ オープニングでの大阿蘇清流太鼓演奏
- ⑥ 満開を迎えた一心行の大桜



3/25 早春の桜巡り

南阿蘇さくらウォークinあそ望の郷くぎの

「道の駅あそ望の郷くぎの」をスタート、ゴールとする「南阿蘇さくらウォークinあそ望の郷くぎの」が開催されました。

当日は小雨が降る中の開催となりましたが、約15キロを歩く「観音桜コース」と、約7キロを歩く「一心行の大桜コース」に県内外から約1,300人が参加しました。

一心行の大桜コースでは、一心行公園のチェックポイントに設置されたクイズに答えたり、用意された白川水源のミネラルウォーターで喉を潤す参加者で溢れていました。

ゴールの後は、村の特産品などが当たる抽選会やマルシェなどがあり、会場は賑わいました。



一心行公園のチェックポイントでクイズに答える参加者の皆さん

3/24 立派な自衛官を目指します

平成28年度 自衛隊入隊者壮行会

平成28年度自衛隊入隊者壮行会が、久木野庁舎で行われ、自衛隊熊本地方協力本部や自衛隊村父兄会、村担当者など11人が新入隊者を激励しました。

新入隊するのは、藤本隼太さん（吉田三）、鶴田康平さん（栃木）、大塚亮介さん（喜多）で、航空自衛隊防府南基地（山口県）、陸上自衛隊113教育大隊国分駐屯地（鹿児島県）にそれぞれ着任されます。

壮行会では、村父兄会の山室義昭支部長が「各地区の駐屯地で体力をつけ、立派な自衛官になってほしい」と激励しました。



自衛隊に入隊する大塚亮介さん（左から3人目から）、鶴田康平さん、藤本隼太さんと関係者の皆さん



3/25 親しみやすく利用しやすい施設へ 役場新庁舎落成式

平成27年9月から建築工事が進められてきた「役場新庁舎」が本年2月末に完成し、その竣工式と落成式が新庁舎内で行われ、国会議員をはじめ、本村の姉妹町である新上五島町などから多くの関係者が出席しました。

南阿蘇中学校吹奏楽部の演奏で開幕した落成式では、庁舎建設のため土地を提供された安岡登美子さん（下田）など2人の個人と3つの団体へ感謝状が贈られました。

役場庁舎は、これまでの分庁方式から新庁舎に統合。さらなる住民サービス向上に資するもので、4月3日から業務を開始しています。



落成式に花を添える南阿蘇中学校吹奏楽部

3/25 楽しかった保育園 村内3保育所 卒園式

村内3つの保育所・園で卒園式が行われ、73人が思い出の園舎に別れを告げました。

ちょうよう保育園の卒園式では、宇都宮美津子園長が22人の卒園児一人一人に保育証書を手渡すと、卒園児たちはうれしそうに保護者のもとへ駆け寄り、感謝の言葉を述べていました。

卒園児たちが、一年間の思い出を交えたお別れの言葉を元気に述べると、保護者たちは涙を浮かべていました。

式終了後には、3月末で退職する宇都宮園長に園児たちから卒園証書、保護者から花束が贈られ会場内に感動を与えました。



保護者に感謝の言葉を述べる卒園児

4/1 佐川官兵衛顕彰碑を再建へ 熊本佐川官兵衛顕彰会

明治10年の西南戦争時に本村黒川地区で戦死した、元会津藩士家老で警視隊長の佐川官兵衛（享年45歳）と藩士を祀った西南の役公園（同地区）が昨年の熊本地震で被害に遭い、顕彰碑が倒壊。その顕彰碑が明神池（吉田）に再建され、その除幕式と、「没後140回忌碑前祭」が明神池地内で行われました。

この日は、県佐川官兵衛顕彰会会員（興梠二雄会長 吉田一）や会津若松顕彰会会員（20人）、吉良村長などが出席し、八坂神社（一関二）による神事や、関係者の皆さんによる顕彰碑の除幕がありました。全国には、約120人の顕彰会の会員がいます。



佐川官兵衛顕彰碑を除幕する関係者の皆さん

3/25 走る駅弁で全線復旧を祈念 南阿蘇鉄道復活祭ー3rd STAGEー

南阿蘇鉄道の全線復旧を祈念した「南阿蘇鉄道復活祭ー3rd STAGEー」が南阿蘇白川水源駅で開催されました。

特設会場では、下関市（山口県）のふぐのから揚げのふるまいやマルシェ、ステージイベントが行われ、この日は、「走る駅弁プロジェクト」と題し、お笑いトリオ、ロバートの馬場さんがプロデュースした駅弁「たっぷりあか牛 牛めし弁当」が販売。トロッコ列車「ゆうすげ号」がレストラン列車として運行され、高森高校の生徒や同鉄道のゆかりのある皆さんへウェ이터に扮した吉良村長と南阿蘇鉄道草村大成社長が駅弁を配りました。この駅弁は、5月7日までの土曜、日曜に同駅で期間限定発売され、PR動画は村ホームページで公開中です。



ウェ이터に扮した吉良村長（左）と草村社長

4/8・11 期待に胸を膨らませ 村内保育所入園式・小中学校入学式

4月8日に、村内3保育所で入園式、11日には、村内5つの小学校と南阿蘇中学校で入学式が開催されました。

新たに始まる保育所・学校生活に、新入生たちは目を輝かせ、式に臨んでいました。

■各保育所・小中学校の新入園児、新入学生数

- ・保育所 白水19人、久木野9人、ちょうよう8人
- ・小学校 中松10人、白水11人、両併3人、久木野33人、南阿蘇西19人
- ・中学校 94人



先生から名前を呼ばれ元気に返事をする園児たち(久木野保育所)



出席者全員で校歌を合唱(中松小学校)



保護者や在校生に迎えられながら入場する新入生(南阿蘇中学校)

4/15 人気キャラクターが復旧を応援 南阿蘇鉄道復活祭-4th STAGE-

著名な漫画家117人が描いたキャラクターやメッセージを載せたレールバス「がんばれクマモト! マンガよせがきトレイン」の出発式が南阿蘇鉄道高森駅で開催され、吉良村長をはじめ、同鉄道草村大成社長などが出席しました。式典の後、1日駅長の高森高校の生徒2人が号令をかけ、南阿蘇西小学校の子どもたち9人とその家族22人を含む乗客を乗せたレールバスがアニメソングの演奏が流れる中出発していきました。この「よせがきトレイン」は11月末まで運行されます。「南阿蘇鉄道復活祭-4th STAGE-」として開催。白川水源駅や中松駅でもイベントが催されました。



白川水源駅を発車する「よせがきトレイン」

4/6 地域住民の健康づくり、村づくりに賛同 公益財団法人ブルーシーアンドグリーンランド財団

日産自動車株式会社より、公益財団法人ブルーシーアンドグリーンランド財団を通して、本村および村白水B&G海洋センターに電気自動車が無償貸与され、その納車式が、役場駐車場で関係者が出席し行われました。

本事業はPRモニターキャンペーンの一環として、電気自動車の無償貸与をしている日産自動車がB&G財団と全国の海洋センター所在地の強いネットワークと地域住民の健康づくりや村づくりへの活動に強く賛同し実現したものです。全国の海洋センターから、活動計画や施設利用状況、立地条件などから車両が最も有効活用できる、本村を含む60カ所の海洋センターが選定され、今回無償貸与されました。村民の健康増進や村づくりに有効活用されます。



日産自動車株式会社より無償貸与された電気自動車